

公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 部分公開 <input type="checkbox"/> 非公開
----------	--

※「5 議題、内容及び結果」における記号の説明

「○」…委員の発言

「◎」…委員の質問に対する事務局の回答

第4回「西部清掃工場更新」における

浜松市 PFI 等審査委員会会議録

- 1 開催日時 令和5年6月21日 10時00分から11時30分
- 2 開催場所 鴨江分庁舎2階 会議室
- 3 出席状況
- 出席委員 山口 直也 教授（青山学院大学大学院）
荒井 喜久雄 技術指導部長（(社)全国都市清掃会議）
佐古 猛 特任教授（静岡大学創造科学技術大学院）
高平 めぐみ 弁護士（静岡県弁護士会）
花嶋 温子 准教授（大阪産業大学）
袴田 智久 本部長（カーボンニュートラル推進本部）
山田 英二 部長（環境部）
- 欠席委員 石切山 真孝 部長（財務部）
- 事務局（環境部廃棄物処理課）
平口課長、河野専門監（課長補佐）、徳田副主幹
松下主任、横井、草田、岡田
- アドバイザー（パシフィックコンサルタンツ株式会社）
長谷川、篠木、上田、森

4 傍聴者 非公開の為、0人

5 議題、内容及び結果

議題1 委員会の進め方について（報告）

（意見）

○見学者数が多い場合にはインセンティブを付与する等、啓発関連のインセンティブについて検討が必要と考える。

議題2 （1）実施方針（案）について（報告）

(意見)

- 「建設事業者」の用語の定義について、要求水準書と実施方針の整合を確認すること。
- 「建設物の設計・建設を行う者」と「プラント設備の設計・建設を行う者」について、業務範囲が明確化するよう表現を再考すること。

(質疑応答)

- 試運転期間中に不具合が発生した際には他所にて処理を実施するのか？
- ◎バックアップ方法について検討中であり、7月の市場調査で確認する予定である。
- 工期の方針はいつ頃決定する予定か？
- ◎市場調査結果を踏まえ、次回の第5回委員会で報告する予定である。
- 三社契約について、支払い方法はどのようになるのか？
- ◎契約上は三社で契約を締結するが、支払い方法は市からSPC、SPCから運搬事業者・資源化事業者となる。

議題2 (2) 要求水準書(案)について(報告)

(意見)

- 近隣住民等との調整について、市と事業者の住み分けを明確にする必要がある。
- 計画ごみ量について、平時と災害時の計画処理量がそれぞれあるため、設計条件が明確となるような記載とした方がよい。
- 「学校教育と連携したプログラムの実施」について、都道府県の教育委員会による「環境教育での施設見学のねらい」という手引き等も参考とすると良い。
- 部分的な引渡しと、正式引渡しの記載があるため、全体の検査が完了していないのに引渡し(部分使用)をして良いのか、整理が必要と考える。
- 啓発設備の社会情勢に合わせた更新方法(大きな設備の更新)について市の姿勢を示す必要がある。

○CO₂排出量を評価する際は、ごみの燃焼に伴い発生した量、余熱利用に伴い削減された量等、それぞれの値がわかるようにして欲しい。

(質疑応答)

○水泳場の開館日が年間 331 日以上とあるが、施設規模算出上の稼働日は、各炉 280 日程度である。バックアップをすることも考えているのか？

◎現工場と同様に、各炉の運転計画や水泳場のボイラによるバックアップを組み合わせて対応する予定である。

○プラスチックの処理方法はどのようにしていく予定か？

◎現在、容器包装プラスチック、ペットボトルは分別回収してリサイクルしており、その流れを続けていく予定である。製品プラスチックを分別回収した場合を考慮した計画ごみ質を設定している。

議題 3 市場調査の実施について（報告）

(意見)

○工期を B 案（竣工：令和 11 年 7 月（令和 11 年 4 月以降は現工場停止））とする場合について、バックアップ時のリスク分担等を明確にできない場合は、採用するべきではないと考える。

○工期を A 案（竣工：令和 11 年 4 月（令和 11 年 3 月まで現工場稼働可能））と B 案にする場合について、B 案の方が、工事期間が長く、竣工年度が遅れるため、物価変動等により参考見積が変動すると考えられる。そのためヒアリングでは考慮する必要がある。

(質疑応答)

○前回回答があった事業者は何社か？

◎6 社。そのうちストーカ 5 社、シャフトが 1 社である。

○要求水準書では、試運転期間が 150 日以上となっており、B 案ではごみ受入れから竣工が 4 か月となっているが整合はとれているのか？

◎試運転期間はごみの受入より前に開始されるため、開始時期は異なる。

○バックアップ体制が困難だという回答が多い場合はどのように対応するのか？

◎その場合は現工場バックアップするため、工期は A 案とする。

○B案について、各社で可能と困難それぞれの回答があった場合はどのように対応する予定か？

◎事業費も大きいため、できる限り多くの企業が参加出来る方法を取りたいと考えているが、アンケート結果を踏まえて検討したい。

○調査票に回答しなくても入札参加は可能なのか？

◎可能である。

審議の結果

議題1 委員会の進め方について、確認した。

議題2 実施方針（案）、要求水準書（案）について、確認した。

議題3 市場調査の実施について、本委員会の意見を踏まえ、市場調査を実施する。

- 6 会議資料の名称 審査委員名簿
委員会の進め方（案）
実施方針（案）
要求水準書（案）（設計建設業務編）
要求水準書（案）（管理運営業務編）
市場調査依頼通知ほか
事業条件等に関する調査票
参考見積等に関する調査票

7 発言内容記録方法 文字 / 録画 / 録音

8 会議録署名人 山口 直也
花嶋 温子